

陸軍表情報(甲)第九六号

四月十日
陸軍省新聞班

「PTタイムス」正論

四月七日発行の「PTタイムス」紙は秦皇島及北戴河方面に在る支那兵の同地方住民に対する暴状に関する外人の寄書に基き長文の論説を發表した其要旨は「前線各地所在の支那兵は決して國防の為に戦ふものではなくて同胞の生命財産に対し危害を加ふる為に行動してゐるのだ、だから是等住民は日本軍よりも寧ろ自國兵を仇敵視してゐる現狀である此の如きは支那ならでは見る事が出来ない奇現象であつて軍紀嚴正仁慈專一の日本軍が占據した各都市の全住民がそれこそ單食壺漿して歡迎するのは当然である。支那若し眞に國防の實を擧げんと欲せば先づ旧軍閥を打倒し特に其軍隊を徹底的に改造せねばならぬ」といふにある。

最近北支那を視察せる外國通信員中支那軍隊の無統制と軍紀の紊亂とを指摘し彼等の敗滅は當然の結果なりとの結論を與へて居るもの二三に止まらないのは注目すべき事だ。